

江木地区活性化計画 ＜概要版＞

平成27年
(2015)
3月

1 計画策定の趣旨

- 江木地区は、かつて日本三大牛馬市の一つとして栄えた場所で、また、久井稻生神社の祭礼の時には多くの参拝客があります。こうした古い歴史のある本地区は、久井地域の商業・医療の中心としての役割を果たしてきました。
- しかしながら、若年層を中心に人口が流出するなど、高齢化・少子化が進行し、地区活動の担い手不足、公共公益施設の減少、地区の基幹産業である商業及び農業の低迷などにより、以前の賑わいが失われてきています。
- こうした状況を打開するには、自分たちの地区のことは自分たち自らで考え、一人ひとりがそれぞれの立場で協力して地区の活性化に取り組むことが一段と重要になっています。
- このため、江木自治区では、三原市中山間地域活性化事業を活用し、「江木地区活性化計画」の策定に取り組みました。

江木地区の位置



2 計画策定の取り組み

- 江木自治区では、各種団体の代表者などとともに「江木地区地域計画策定委員会」を設置し、「江木地区活性化計画」の策定に取り組みました。
- 計画策定にあたっては、住民の皆さんの幅広い意見を聞くために、地区内住民（16歳以上）へのアンケート調査の実施、地区住民全員を対象とした意見交換会（ワークショップ）を行いました。



計画策定体制

江木地区地域
計画策定委員会

- ・自治区役員
- ・各種団体の
代表者
など

三原市の支援

計画策定の流れ

- (1) 計画策定の進め方の検討
- (2) アンケート調査
- (3) 意見交換会
(ワークショップ)
- (4) 計画案の協議・とりまとめ
- (5) 計画の決定

③ 地区の活性化計画

地区の将来像

歴史文化に彩られ、交流が活発な「江木」

地区づくりの基本方針

基本目標1 歴史文化の継承と交流が活発な地区

基本目標2 誰もが安全、快適に暮らせる地区

基本目標3 久井地域の日常生活（医療・買い物等）を支える地区

地区づくりの基本計画

1 高齢者をみんなで支える地区づくり

<高齢者の見守り・生活支援の推進>

- 高齢者のニーズを踏まえた見守り・相談支援の充実
- 高齢者の見守り、サロン活動、弁当の配食、貯筋教室などの充実

<高齢者の生きがい活動の推進>

- 高齢者が収入を得られる場（農業等）の提供の検討
- お茶の間サロン、健康づくり事業の推進

<高齢者の支援体制の充実>

- 地区住民及び各種団体の連携による総合的に支援する体制づくり



2 若者・子どもが住みやすい地区づくり

<若者の定住の促進>

- 地区内へ若者の就業の場の確保、就業しやすい環境づくり（農家、農業生産法人との連携）
- 観光交流の推進による就業の場の創出
- 若者の出会い、交流の場づくり

<U J I ターンの促進>

- 移住希望者に空き家を提供する体制づくり
- 空き家を企業の事務所として活用する取り組みの推進
- I ターンする若者が定住しやすい環境づくり
- 地区出身者に対する行事・祭りへの参加の働きかけ、U ターンする場合の各種支援

<子どもの交流の推進>

- 平日の下校後、土曜日における子どもの交流の場の確保



3 久井地域の暮らしを支える地区づくり

<商店街の再生>

- 商業者と連携し、イベント開催、空き店舗活用などによる商店街の賑わいづくり
- 地区を挙げて商店街の景観づくり（花一輪運動、デコの展示など）
- 商業者が行っている宅配サービス事業のPR
- 商業者へのインターネットを活用した情報発信、ネット販売などの働きかけ

<農地の保全と農業の振興>

- イノシシなどの有害鳥獣被害対策の推進
- 農業生産法人と連携し、農地の一体的な管理と就農希望者の受け入れ
- 農業の担い手として高齢者の活用
- 休耕田を活用した都市住民向け貸し農園運営の検討
- 農家、農業生産法人へ農産物直売所の設置、農業イベント開催の働きかけ



4 地区の特徴を活かした歴史文化の里づくり

<歴史文化を活用した交流の推進>

- 牛馬市の歴史、久井稻生神社の活用

<その他の資源を活用した交流の推進>

- ホタル観賞場所の整備、宇根山一帯の観光資源との連携、新規イベントの開催

<おもてなし体制の整備>

- 情報案内施設の整備、インターネットを活用した情報発信
- 宿泊・飲食サービス施設整備の検討



5 多彩な活動を推進する地区づくり

<地区活動の推進>

- 若者の交流、地区行事への住民参加、親睦の促進
- 趣味教養活動ができる場所の確保

<行事・祭りの活性化の推進>

- 世代間交流の推進、新規イベント開催の検討
- 関心のある人が参加できる実行委員会方式によるイベント開催方式の検討
- 既存の行事・祭りの充実、年間行事・祭りカレンダーの作成
- 行事・祭りへ近隣住民が誘い合って参加するための働きかけ

<歴史文化の継承の推進>

- 勉強会の開催による歴史文化の継承、来訪客への地区案内体制の充実

<その他の取り組みの推進>

- 地区のゆるキャラ（ウッシー）づくりと地区のPRへの活用



4 計画の推進体制

① 計画の周知，取り組みへの参加の働きかけ

- 江木地区活性化計画概要版の全戸配布
- 各区及び関係組織の会合で江木地区活性化計画の説明会の開催

② 計画の推進体制づくりと段階的な取り組みの推進

<計画の推進体制づくり>

- 江木自治区に「地区活性化計画」の推進部門の設置
- 江木地区の各種団体との連携を強化し，一体的かつ幅広い活動の推進
- 人材バンクの設置，登録による適材適所の人材活用の推進

<段階的な取り組みの推進>

- 優先的に行う事業を検討し，段階的な取り組みの推進

<取り組みへの多様な担い手の参加の確保，人材の育成>

- 住民，各種団体，農業生産法人，企業などとの連携の強化
- 地区出身者及び都市住民の応援，三原市などの支援の活用
- 講習会，研修会，先進地視察などの実施による人材の育成



③ 情報の受発信体制の確立

<地区内向けの情報発信>

- 江木自治区だよりの発行の検討
- 若者世帯などに対し，インターネットを活用した情報の発信

<地区外向けの情報発信>

- インターネットを活用した江木自治区の情報発信体制づくり

<人材の確保>

- 江木自治区のホームページを管理，活用できる人材の確保，育成



<問い合わせ先>

江木自治区（江木地区地域計画策定委員会）